



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄通) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.6.18 No. 3412

## 6・23 反戦 行動に向けて

### カミング・ウォー・ ウィズ・ジャパン

「ザ・カミング・ウォー・ウィズ・ジャパン」という本が、日米でベストセラーになっている。書いた人はアメリカ人の政治学者だから、題名は「日米戦争が近づいている」ということだ。この本は、結論として「基本的に、問題は一九四一年当時とほとんど同じである。日本は東南アジアおよびインド洋の鉱物資源供給路を支配する一方、政治的に支配可能な輸出市場を確保する必要がある。そのためには、日本はアメリカを西太平洋から追い出さなければならない。」

ところで、われわれは、「戦争反対なんてあたりまえだ」「みんなそう考えているんだから、まさか戦争なんて起こりはないよ」と誰もが思いながら、今までに何度となく戦争を「経験」してしまっただけで、どうしてなのか、戦争は、どうやってやってきたのか、「まさか」がまさかでなくなるときについて真剣に考えなければならぬ。

## 「戦争」について 考える!

### 「戦争」は、どうやって やって来たか?

配のもとに、戦争に突入、六百万人のユダヤ人を強制収容所で虐殺した。少し長くなるが、次に掲げるのは、『彼らは自由だと思っていた』という本に書かれている、あるドイツ人の「告白」だ。質問者は、何故ドイツ人はあの異常きわまりない支配を黙って見すごしたのか、何故あれほど倒錯した世界の住人として「平気」でいられたのか、という疑問を解こうとしてインタビュしている。

### 全てがうまく説明され ある日気がついてみると

「一つひとつの事件は、極めて小さく、うまく説明され、時折遺憾の意が表明されるという次第で、全体の過程を最初から離れて見ない限りは、人々が見ているものは、ちょうど自分の鼻で作物がのびていくのと同じなのです。ある日気がついて見ると作物は頭より高くなっているのです」「どうか私を信じてください。何処に向って、どう動いていくのか見きわめられないのです。一つひとつの行為、一つひとつの事件は確かにその前より悪くなっている。しかしそれはほんのちよつと思ふようになっただけなのです。そこで次の機会を待つということになる。何か大きなシヨツキングな出来事がおこるだろう。そうしたら、他の人々も自分と一緒に何とか抵抗するだろうという訳です」「街でもみんな幸福そうに見える。何の抗議もきこえないし何も見えない……おそらく自分と同じように感じていると思われる同僚たちに話してみます。ところが、彼らは「それほどひどい世の中じゃないよ」「君はおどかし屋だ」と言うんです。確かにそうなんです。何故って、これこれの事は必ずこれこれの結果を招来すると言ったって、証明することはできないんです。終りが判らないのに、どうして確実に知っていると言えますか」

たしかに、自衛隊派兵もPKOの事件は、確かに以前より悪くなくも「平和のため」「国際貢献」と言っている。しかし、「戦争反対の極めてうまく説明されている。何の抗議もきこえない。みんな幸福そうに見える。自衛隊を海外に派兵することなど、数年前なら考えられなかったことだ。一つひとつの機会を待つことになる。……」

